

『赤煉瓦』No.18 (2009年2月12日発行)の内容を撤回し、関係各位ならびに組合員の方々にご迷惑をおかけしたことを心よりお詫びいたします。


「工学部技術職員の超過勤務時間の計算方法が一部見直されました ~2年前に遡って計算を見直し清算する。しかし、問題は解決していなかった~」という表題で2009年2月12日に発行しました『赤煉瓦』No.18につきましては、検討中のものを印刷・配布するという作成の過程における手違いのために、その構成や表現等に不適切な点がありましたので、これを全面的に撤回いたします。受け取られた方は破棄願います。

このたびにご迷惑をおかけした関係各位ならびに組合員の皆様に、心よりお詫び申し上げます。以後、このようなことの無いように再発防止に努めて参りますので、これからも変わらぬご支援のほどよろしく願いいたします。

なお、本ニュースにつきましては、後日改訂版を発行したいと考えています。

2009年2月19日

熊本大学教職員組合 執行委員長 市川聡夫

	熊本大学教職員組合	
	No.21 2009.2.19	内線:3529 FAX:346-1247 ku-kyoso@union.kumamoto-u.ac.jp http:// union.kumamoto-u.ac.jp